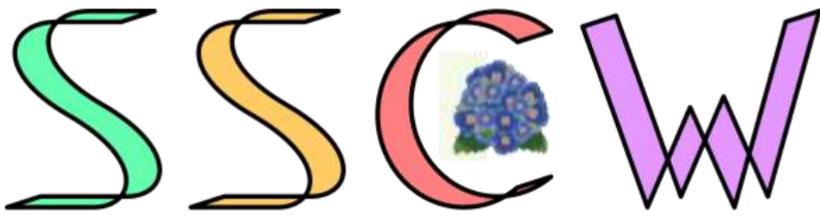


# 人を孤立させない地域づくり



Society of Study for Community Welfare

地域福祉を考える会 (SSCW) 会報紙 ニュースレター

発行：2024年6月20日発行 第116号

認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会

〒259-1142 伊勢原市田中256番地の1-301

TEL：0463-95-6665 FAX：0463-20-9320

Mail:office@tiikifukusi.com

http://tiikifukusi.com/

あじさいの彩りが、雨に映える季節となりました。今日のそちらの空模様はいかがでしょう。みなさまにおかれましても、お健やかに過ごしのことと存じます。

## ～人との出会い～



理事長 萩原 鉄也

「地域福祉を考える会」との出会いを通じて、地域福祉に関する多くの貴重な経験をさせていただきました。そこで学んだのは、地域における福祉の重要性です。地域で暮らす方々の生活を支え、笑顔を守ることは、自分自身の役割だと感じています。

高校・大学時代には社会勉強の一環として様々なアルバイトを経験し、現場で多くを学びました。社会人となってからの30代以降、地元の青年会議所活動を通じてさらに多くの素晴らしい出会いに恵まれました。その活動の中で、まちづくりと地域貢献の重要性を実感し、自分自身の視野が大きく広がる思いでした。

近年、私たちの住む地域社会では、災害が多発し、その対策の重要性がますます問われるようになってきています。こうした状況の中で、地域の福祉や支援の視点からの取り組みが求められていると感じています。災害時においても、地域での連携やコミュニティの力が重要であり、日頃からの信頼関係が困難な状況に立ち向かう上で欠かせないことを痛感しています。

これまでの経験と出会いが、現在の私を形成し、支えてくれています。福祉の重要性やまちづくりの大切さを学び続けることで、自分自身が地域社会にどのように貢献できるかを常に考えるようになりました。今後も、皆様と共に地域社会の一員として、より良いまちづくりと地域福祉の向上に寄与していきたいと考えています。

会員特別寄稿

## 健康長寿でいつまでも 活動を楽しむために

フレイルサポーター 福井義幸 (会員)

人生百年時代、誰もが願うことは心身共に健康でありたいということ。しかしながら年齢を重ねるごとに心配も増えていきます。厚生労働省の調査では、平均寿命と健康寿命の差は男性で8.37歳、女性で12.51歳とあります。

命長らえても健康でなくては人生楽しめません。この差を無くしていつまでも元気で不安のない人生を楽しみたいものです。そこでフレイルという言葉が浮かんできます。

フレイルとは健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味し、心身の活力が低下した状態を言います。心身の活力とは運動機能や認知機能を維持しつつ社会貢献活動などに意欲を出せる力とも言えます。フレイルに早く気づき対策をすれば元の健康状態に戻すことができます。

元気な時から心がけていればいつまでも元気な人生を送れると確信しています。フレイル予防の三本柱である「栄養」「運動」「社会参加」活動を無理せず続けPPK(ピンピンコロリ)目指して人生を楽しみましょう。



## 役員紹介

令和6年6月8日～令和8年6月7日

(敬称略)

	名前	よみがな	役員
理事	萩原 鉄也	はぎわら てつや	理事長
理事	勝田 俊一	かつた しゅんいち	副理事長
理事	細谷 毅義	ほそや きよし	副理事長
理事	端山 清	はやま きよし	理事
理事	神山 幸子	かみやま さちこ	理事
理事	中 園子	なか そのこ	理事
理事	安武 敬子	やすたけ けいこ	理事
理事	中込 英子	なかごめ ひでこ	理事
理事	高梨 雅美	たかなし まさみ	理事
理事	山口 知英	やまぐち ともひで	理事
理事	加藤 千帆	かとう ちほ	理事
理事	中台 和子	なかだい かずこ	事務局長
理事	鵜飼 恒雄	うかい つねお	事務局・総務
監事	金子みどり	かねこ みどり	監事
監事	平田 真一	ひらた しんいち	監事

### 《退任》

理事 島津 淳 (しまづ あつし)

退任されました島津淳理事には長い間当会の為にご尽力いただき感謝申し上げます。

## ご報告

### 2024年度第20回総会 5月26日(日)

今年でNPO法人設立から20年を迎えます。当日は来賓に高山松太郎市長を始め、山口賢人伊勢原市教育長、(社福)市社会福祉協議会佐伯妙有会長からご挨拶を頂き、伊勢原市ひとり親福祉協会田中綾子会長、市保健福祉部石井裕部長、市子ども部山田泰生部長、市市民生活部河原康二部長にご出席いただきました。会員数93名、出席 35名 委任状 58名 議案すべて可決されました。

今年も皆様のご支援ご協力よろしく申し上げます。

萩原鉄也理事長よりご挨拶「日頃のご理解、ご協力に心より感謝申し上げます」



高山松太郎伊勢原市長にもご挨拶ご祝辞を賜りました



# こども支援事業

～みなさまの善意とご支援に支えられ～

## こども食堂

いせはらこども食堂は今年で9年目に入ります。なるせこども食堂は2年目に入ります。その日は川口ボランティア(秦野)さんがチョコレートフォンデュを披露して子ども・大人も堪能しました。完売 ありがとうございます。



5月8日 いせはらこども食堂



5月9日 なるせこども食堂



# 学習サポート

## 学習サポート「みらい・つなぐ」とは

◇事業の主旨

生活が困窮している世帯の子どもなどが適切な学習の習慣が身に付くよう支援する。

また、子どもや保護者が主体的に進路を考え、選択できるよう支援するとともに、子ども及びその世帯の課題を整理し、学習習慣づくり支援を通して、子どもの社会的自立を支援する。

学習支援サポート事業は「学習支援」「子どもの居場所」「保護者相談」を柱として進める。

令和6年9月7日で本サポートは、8年を経過し、9年目を迎えます。卒業していった多くの生徒たちの多様な個性と出会い多くのことを学んできました。児童生徒一人ひとりに「みらい」があります。

その時々悩みや困りに寄り添いながら、学習に集中できるよう支援しています。

支援者は大学生が中心です。若く生徒たちと年齢も近い彼らは、豊かな感性を持ち子どもたちにはかけがえのない存在です。先日フジテレビの「イット」という番組の取材があった時、小学生の時から通っている中2の男子が、突然のインタビューであったにもかかわらず学習サポートのことを見事に語ってくれました。

「先生たちは優しく僕たちに寄り添ってくれ、わからないことを丁寧に教えてくれます。」「勉強はつらいときもありますが分かるととてもうれしいです。」と。それを聞き、良い学習の雰囲気醸成されて来た実感しました。

令和6年5月現在、支援者(一般9名、学生20名)、児童生徒は小学3年(1)、小学5年(4)、小学6年(5)、中学1年(8)、中学2年(4)、中学3年(11)、養護卒(1)の34名で本年度が始まりました。

副理事長(コーディネーター) 細谷 毅義



## こども食堂 天キッチン

5月19日(日) こども参加18人

献立: ミートスパゲッティとコンソメスープ

ミートスパゲッティを作るのは簡単そうに見えて時間がかかりました。

たまねぎ、にんじん、にんにくをみじん切りにして後はフードプロセッサの力を借りて更に細かくしました。中学のお兄さん、お姉さんにはウインナーを焼いてもらいました。出来上がりまで菅野さんに折り紙を教わりました。



**TOSHIBA (有)ヤハギ電器販売**  
 ☎ 0463-95-4282  
 伊勢原市上粕屋739-11  
 定休日: 水曜日

MAP TOSHIBA

米屋日本一をめざして  
**ア 荒川米店**  
 安心、安全、感動するお米屋さん

〒259-1145 伊勢原市板戸184-1  
 ☎ 0463-71-6211 Fax 0463-71-6150

地域と共に未来を考える  
 精密金属加工製品 設計・製造  
**三光工業株式会社**  
 〒259-1146 伊勢原市鈴川5番地  
 0463(91)2222 (代)

## 児童コミュニティクラブだより

令和6年度がスタートして3か月が過ぎました。4月に入所した1年生も児コミでの生活に慣れ同学年、上級生と仲よく遊ぶ姿が見られるようになりました。児コミでの生活がスムーズにおくれるように支援員一同安全に心がけ日々の保育の運営に努めてまいります。

保護者の皆様、学校の先生方、保育園の先生方、児童館の指導員の方、地域の皆様の見守り、ご協力をお願い致します。

4児コミ代表 安武敬子

<訂正>前号で入所説明会の日時を「3月24日(金)」と記載しましたが、正しくは「3月15日(金)」でした。訂正いたします。

<これからの児コミの予定>  
運営委員会、お楽しみ会、夏祭り、夏休み工作等

児童書を会員の吉羽さんから頂きました。児コミの子ども達の読書時間に活用したいと思います。ありがとうございました。



各コミでは新入生歓迎会を開きました。折り紙の手づくりメダルを掛けてもらいました。



自由遊びの時間の様子です。



15月



こいのぼりを作り、飛ばしました。

## 子育てひろば「きらきら」

ここ数年、きらきらには0~1歳の赤ちゃんが多くいらっしゃいます。0~1歳は、1番成長著しい時。1ヶ月見ないだけで、びっくりするほど赤ちゃんは成長します。今日来てくれたお子さんも、ずっとハイハイだったのに、突然歩き出してビックリ！親御さんはなかなか歩き出さない事を心配していたので、サポーター一同感動に包まれました。お子さんが成長して行く感動を共有させていただき、本当に幸せなボランティアだと思いました。

5/28 ユーコープさんが紙芝居などで楽しい時間を



成長の喜びだけでなく、育児の心配事なども、サポーターと一緒に参加する親御さん同士でどんどん話して共有していただけだと思います。少しでも軽い気持ちになって帰っていただける事が、私たちの願いです。

- ◆活動場所：シティプラザ1F ふれあいホール
- ◆時間：午前10時~12時
- ◆参加費：一組100円(予約不要・出入り自由)

◆開催日(6月~8月)

	火	火	火	火
6月	4 手形	11 エクササイズ	18 お話し会	25
7月	2 (七夕制作)	9 エクササイズ	16 お話し会	23
8月	6 手形	20 エクササイズ	27 お話し会	

## 「その後の様子や近況を報告」

成年後見部会から

成年後見部会代表 勝田 俊一

ニュースレター113号、115号で報告をした保佐開始審判の取消申立を行った青年のその後の経過を改めてお知らせします。

前号での報告は「保佐開始審判の取消しを進めている」という所まででしたが、その後横浜家庭裁判所小田原支部から正式に取消申立に対する審判が下り、すでに「保佐人」ではなくなりました。

現在、家庭裁判所への最後の保佐人報酬の申立書類を提出しており、その審判が下りて報酬を受領し、当方で管理していた財産や重要書類の引渡しを完了後、「保佐人」「被保佐人」の関係は終了します。

と、文章では事務的な関係に見えますが、平成26年、ご本人が23歳の頃から10年のお付き合いになります。グループホームが行っていた財産管理を引継ぎ、将来の自立に向けた身上保護を目的に保佐人を受任。その後、アパートの契約、車の免許の取得、契約社員から正社員へのステップアップなど生活全般をサポートしてきました。令和3年からはご本人の希望「保佐人なしでの自立」を目指し財産管理の多くをご本人に任せ、更なる自立を図ってきました。そのようなご本人の努力、当法人の取組み、主治医の診断書での後押しがあり、保佐開始審判の取消が認められたものと思います。

実際法人経営から見ると「被保佐人が減る」という事は「収入が減る」という事であり、他の法人後見団体や家庭裁判所に於いてもほとんど取消事例は無いという事です。また成年後見制度の見直し論の中にも「期限付きの後見制度」の議論もあると言われ、特に被後見人に知的障害がある場合、成長に応じた対応が難しいと言われています。その様な中、当法人の「保佐開始審判の取消」への対応は、被後見人の身上保護や意思決定支援を重視した市民後見人の良い点が活かされた例であると言えます。

土木・上下水道工事・設計施工  
**豊建設株式会社**  
代表取締役 渡邊 淳矢  
本店 〒259-1112 伊勢原市東富岡959-10  
☎ 0463-94-5419 (代)  
FAX 0463-96-1264

鍼灸・物理療法・整体・エステ  
**東洋療術院**

〒259-1131  
伊勢原市伊勢原1-14-14  
伊勢原ビル6F  
☎0463-92-7888



お食事処 **天 -ten-**  
伊勢原 1-11-22-2F ☎0463-63-2460



# 団体紹介

※当会に支援を寄せていただいている団体様から  
原稿をいただき、ご紹介するコーナーです。

## 特定非営利活動法人いせはらネクスト

特定非営利活動法人いせはらネクストは、地域活動支援センター『ねくすと』として、精神障がいなどをもつ人が地域の中で安心して生活を送れるように支援しています。

通所して他の人とも関わりながら、活動しています。主な活動内容は、ミシンで縫う布製品や、アクセサリーの作製です。

また散歩やランチに行くこともあります。時にはバスに乗って出かけて自然と食を満喫しています。

事業所内部、ここで作業をしています▶



## けんこう👉つなぐ👉うたごえ

5月18日(土) 晴天 「けんこう・つなぐ・うたごえ」に横浜サウンドストリーム(口笛 小國徹さん、ピアノ佐上智美さん)のお二人がゲストとしてお越しくださいました。わたしたちの歌に合わせて口笛を吹いたり、口笛はもちろんトークも面白く、口笛クイズでは正解の当たった方には飴玉の景品をもらい、ピアノ演奏の智美さんの演奏も小國さんの口笛に負けていません。イントロクイズの最初の一音ではなかなか正解が出なく、皆さんは真剣に耳を傾けて三音くらいでやっとわかり、会場は大盛り上がりでした。正解の景品にムーミンビスケットを頂きこどものようにはしゃいでしまいました。

古川先生の誘導でゲストのお二人もパタカラ体操や、手話の歌など最後まで参加していただきとっても楽しい素敵なひと時でした。

ありがとうございました。



◀口笛 小國 徹さんと  
ピアノ 佐上 智美さん▶  
(横浜サウンドストリーム)



古川先生も  
ノリノリで楽しそう!



## 感謝 こども支援へ食材・物品 謝

ありがとうございます ◆4~5月のご提供者様(敬称略)◆  
わくわく広場(桜台)、木内明男・めぐみ、渡邊健樹、セ・ラヴィー(沼目)、(株)三光工業、伯東株式会社(鈴川)、荒川米店(板戸)、ユーコープフードバンク(飯山)、NPO法人太陽の家(大和)、渡邊馨(三ノ宮)、(社福)社会福祉協議会フードバンク、田中孝子(串橋)、杉田和夫(下糟屋)、ヤハギ電機、前田國光(上粕屋)、清水敦子(東大竹)、長龍寺(石田)、(有)坂本水道(池端)、川口なおみ(白根)、緑花祭りフードバンク川口省吾(秦野)、匿名(4)

## ご報告

### 5/11・12 公園緑花まつりに出店

第33回 伊勢原の初夏の風物詩「公園緑花まつり」が5月11日(土)、12日(日)の2日間、伊勢原市総合運動公園で開催されました。初夏を彩る花や緑に触れ合えると多くの方が訪れる人気イベント。

中央広場では、ハワイアン音楽やソーラン踊りなども披露されました。11日には午前9時から開会セレモニーが行われ、市内の公園整備に長年に渡り携わってきた公園愛護会に感謝状の贈呈なども行われ、私たちは模擬店(フランクフルト、落花生、菓子パン、飲料水)出店で協力させていただきました。



▼花まつり ウバ桜たちが 花を添え



### ご寄付者名簿(敬称略)

ありがとうございます



◇R6年4月1日~R6年5月29日(単位:円)  
天ten 12,193 匿名 10,000 大杉あや子 10,000 西郷和夫 10,000 匿名 10,000 三瓶ミネ子 6,500 N・K 30,000 護守庸子 3,000 匿名 1,500 三光工業(株) 10,000 K・K 10,000 NPO法人ナチュラルトリートメント 5,000 匿名 10,000 石井清 5,000 渡辺くに子 5,000 匿名 10,000 川上道子 5,000 匿名 20,000 匿名 10,000 匿名 3,000 小泉春雄 68,000 梶田紀子 10,000 TINY CAMP VILLAGE 10,000 鈴木達也 50,000 (有)セブン研磨・佐藤隆 300,0000

合計 624,193円 令和6年度累計 736,323円

### 賛助会員名簿(敬称略)

◆R6年4月1日~令和6年5月29日(単位:円)  
福澤順子 5,000 石井清 5,000 富井靖子 5,000 櫻井志保 10,000

令和6年度累計 25,000円